

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣桜高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年1月29日(水) 13:45~16:30
- 3 開催場所 大垣桜高等学校 校長室
開催にあたり、委員による卒業研究作品発表会参観を実施した。
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	中川 智臣	大垣市墨俣地域事務所 所長
副 会 長	堀 あゆ美	岐阜県社会福祉協議会 生活支援部 課長補佐
会 員	高木 久	墨俣一夜城(歴史資料館) 館長
	西川 守	リバーサイド笠松園デイサービスセンター 在宅介護課 マネージャー
	日比野 有規枝	墨俣児童館 館長
	水谷 聡美	育友会長
学 校 側	宮田 慶美	校長
	篠田 和宏	事務長
	瀬下 裕基	教頭
	郷 絵美	教務主任
	芝山 玲子	生徒指導部長
	香林 誠一	進路指導部長
	高橋 路子	家庭・福祉部長

5 会議の概要

- (1) 卒業研究作品発表会参観
- (2) 校長挨拶
- (3) 自校評価

学校から年度末評価の説明

- 意見1 卒業研究作品発表会は、年々工夫されている。コロナ禍後、地域へのイベント参加や交流等が徐々に増えているので、地域側も学校を支援できる体制を整えたい。
- 意見2 現高校生は、中学生時代をコロナ禍で過ごし、中学生生活の中で人間関係の失敗経験が少ない。進路希望がしっかりしていなかった生徒も先生と話していく中で段々と現実的になっていき、本校で学ぶことが手に職を付けることと直結しているという認識に繋がった。
- 意見3 卒業研究作品発表会に妥協がない。本校は地域とのつながりを大切にしており、

生徒は将来仕事をする時に、これらの経験が現在の自分に繋がっていると分かる日が来る。

意見4 学びの成果が十分発揮されており、指導者の思いも伝わってきた。今後も交流を続けてほしい。

意見5 本校で専門的な技術を身に付けられたと育ちを感じた。遅刻は将来進学しても就職してもリスクが高いため今後も指導をお願いしたい。卒業研究作品発表会に進路先の学校や企業等の招待があれば本校での学びを知ってもらえるのでよいのではないか。

(4) スクール・ミッションの策定

学校からスクール・ミッションの修正案を提示

意見1 前回承認した案と、内容は一致している。

意見2 生活産業学科の中心的存在として県内の生活産業の学びをリードしていくという表現になっている。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、自校評価に対する委員の評価と来年度に向けての提案をいただいた。全委員よりスクール・ミッションの案について承認が得られた。

今後も、地域との交流を大切に、支援をいただきながら魅力ある学校づくりを推進していきたい。